

7 心肺蘇生法及びAED（自動体外式除細動器）について

（1）胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸をできるか

◇「できる」が2割台半ば

県では、誰もが自発的かつ積極的にAED（自動体外式徐細動器）（※）を用いた心肺蘇生法を実施できる環境づくりを基本理念とし、AED等の普及啓発に取り組んでいます。

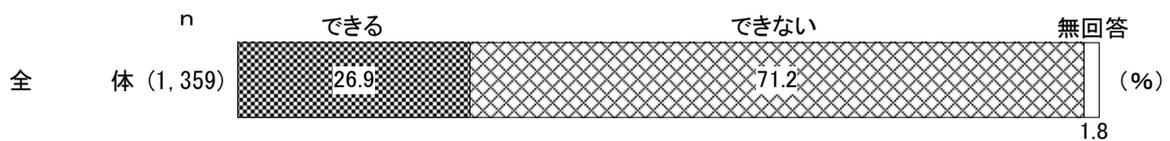
今後の取組の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

（※）傷病者の胸に貼ったパッドから自動的に心臓の状態を判断し、心室細動等の不整脈があったと判断された場合は、電気ショックを心臓に与える機能を持っている。

問21 あなたは、見知らぬ人が目の前で突然倒れ、その人の意識がなかった場合、その人に胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸を出来ると思いますか。（○は1つ）

（※）一般的な心肺蘇生法では、倒れている人の意識や呼吸がない場合、胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸（人工呼吸はできる場合のみ）を実施することとなっています。

<図表7-1> 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸をできるか



見知らぬ人が目の前で突然倒れ、その人の意識がなかった場合、その人に胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸を出来ると思うか聞いたところ、「できる」（26.9%）が2割台半ばとなっている。一方、「できない」（71.2%）は7割を超えて高くなっている。（図表7-1）

【地域別】

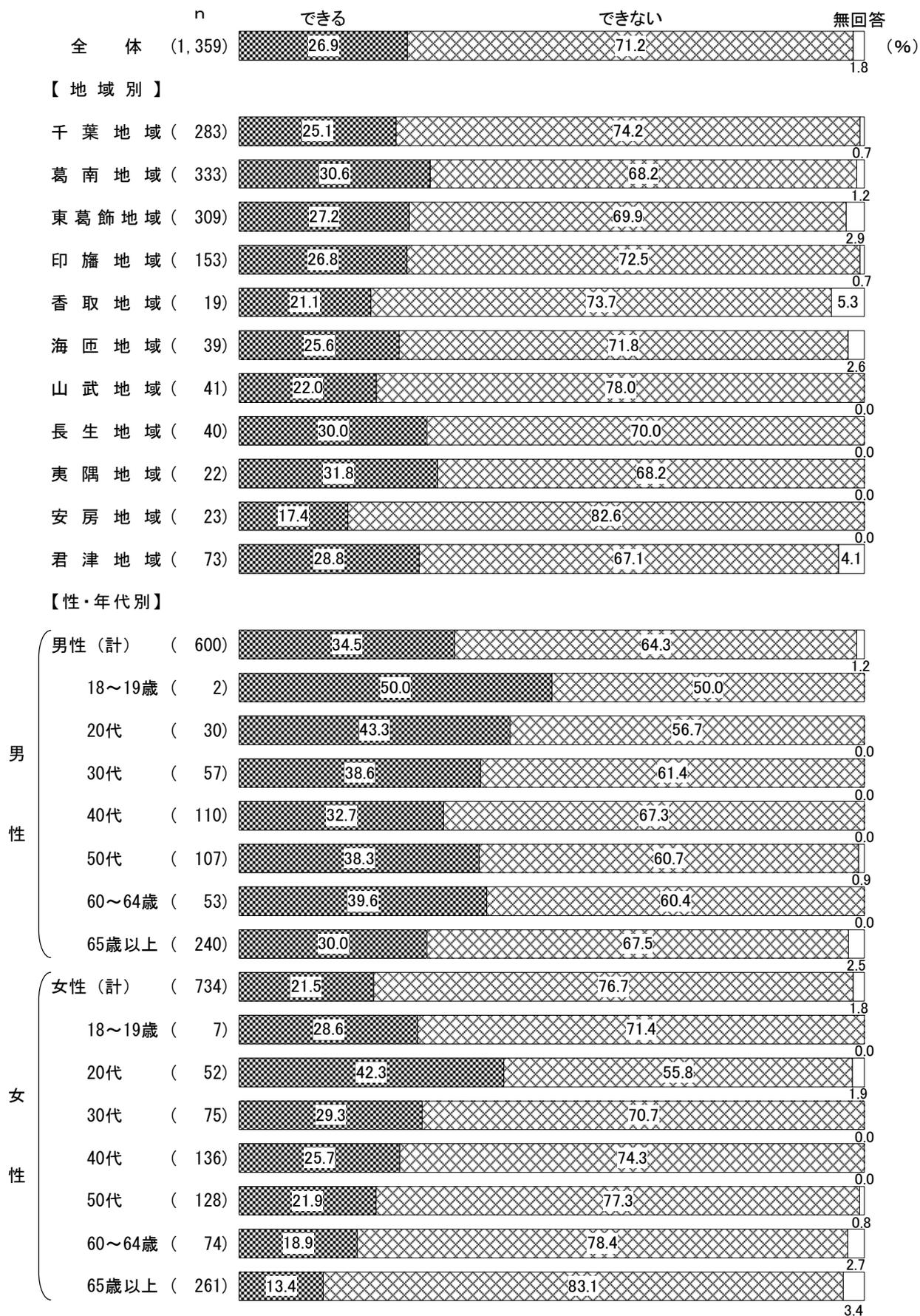
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表7-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「できる」は男性の20代（43.3%）と女性の20代（42.3%）が4割を超え、男性の30代（38.6%）、男性の50代（38.3%）、男性の60～64歳（39.6%）が約4割で高くなっている。

一方、「できない」は女性の65歳以上（83.1%）が8割を超えて高くなっている。（図表7-2）

＜図表7-2＞胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸をできるか／地域別、性・年代別



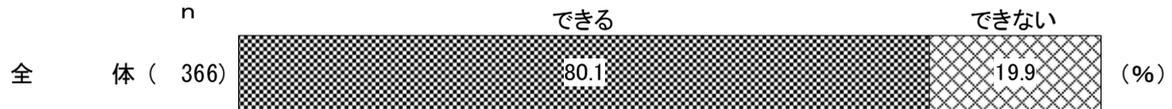
（1－1）異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできるか

◇「できる」が8割

（問21で「できる」とお答えの方に）

問21－1 あなたは、異性に対して胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸をできると思いますか。（○は1つ）

＜図表7－3＞異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできるか



見知らぬ人が目の前で突然倒れ、その人の意識がなかった場合、その人に胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸を「できる」と回答した366人を対象に、異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできると思うか聞いたところ、「できる」（80.1%）が8割で高くなっている。

一方、「できない」（19.9%）は約2割となっている。（図表7－3）

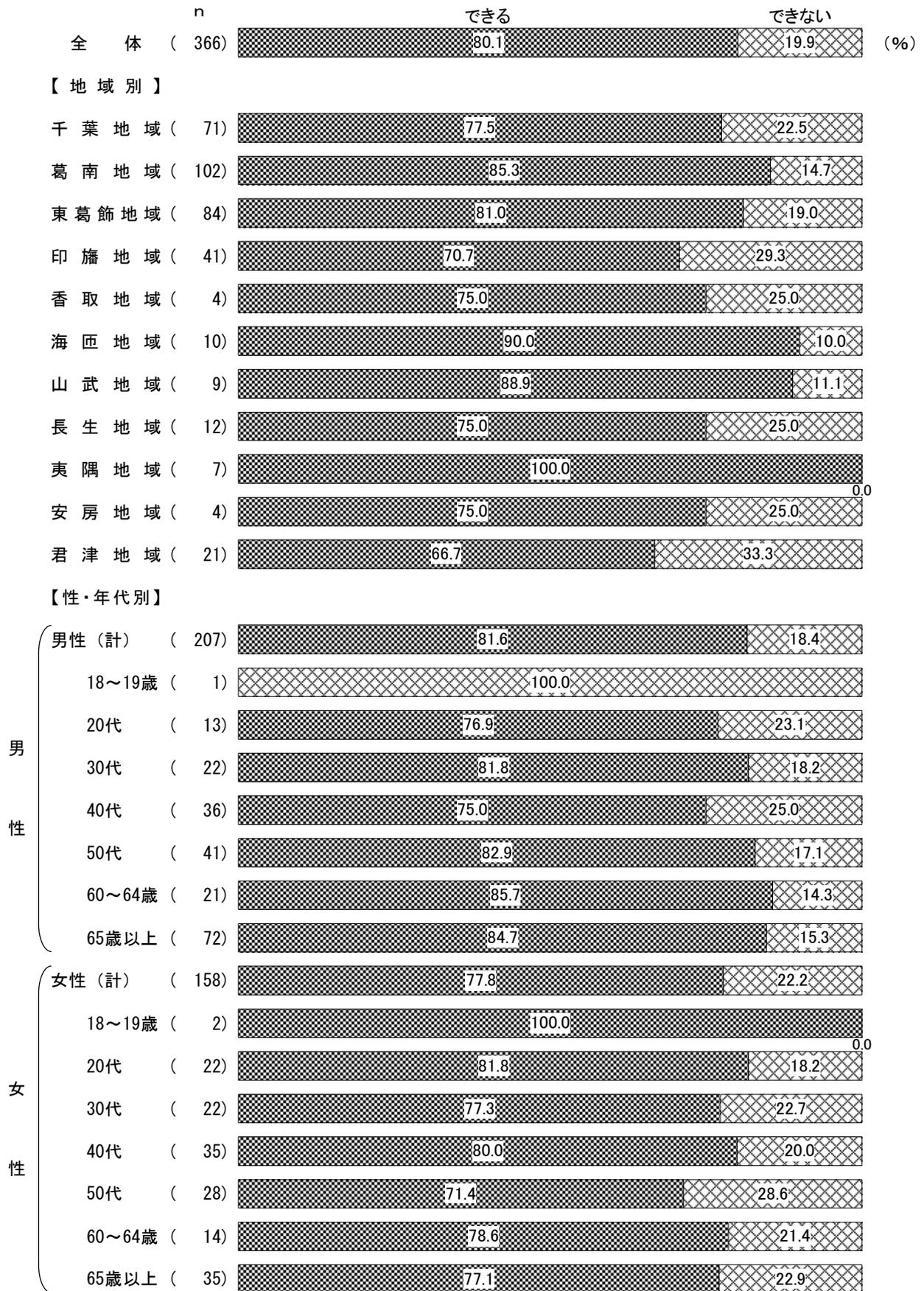
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表7－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表7－4）

<図表7-4>異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできるか／地域別、性・年代別



（1－2）胸骨圧迫や人工呼吸をできないと思う理由

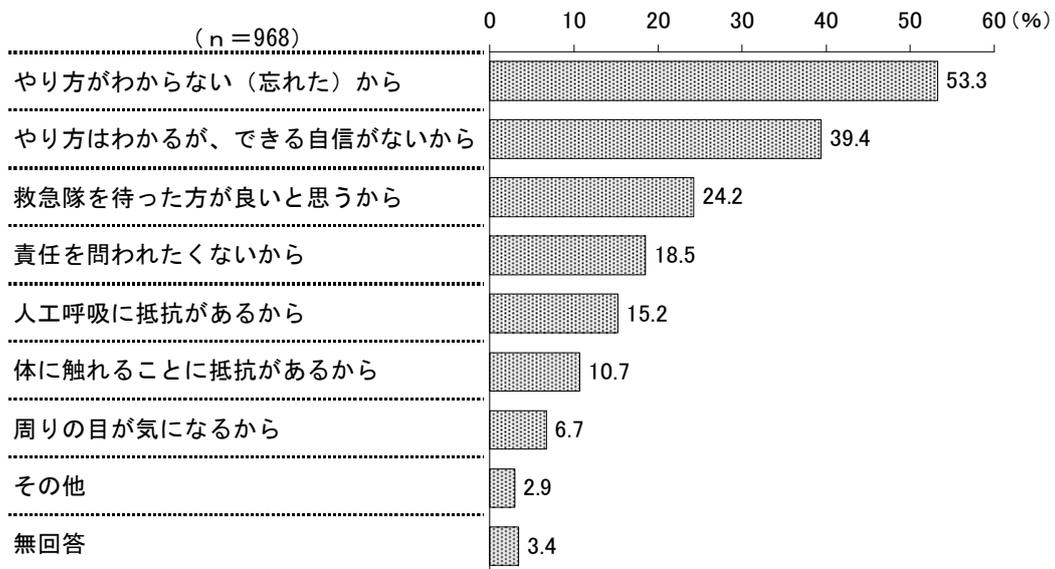
◇「やり方がわからない（忘れた）から」が5割を超える

（問21で「できない」とお答えの方に）

問21－2 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由は何ですか。

（○はいくつでも）

＜図表7－5＞胸骨圧迫や人工呼吸をできないと思う理由（複数回答）



見知らぬ人が目の前で突然倒れ、その人の意識がなかった場合、その人に胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸が「できない」と回答した968人を対象に、その理由を聞いたところ、「やり方がわからない（忘れた）から」（53.3%）が5割を超えて最も高く、以下、「やり方はわかるが、できる自信がないから」（39.4%）、「救急隊を待った方が良くと思うから」（24.2%）、「責任を問われたくないから」（18.5%）が続く。（図表7－5）

【地域別】

地域別にみると、「人工呼吸に抵抗があるから」は“山武地域”（28.1%）が約3割で高くなっている。（図表7－6）

【性・年代別】

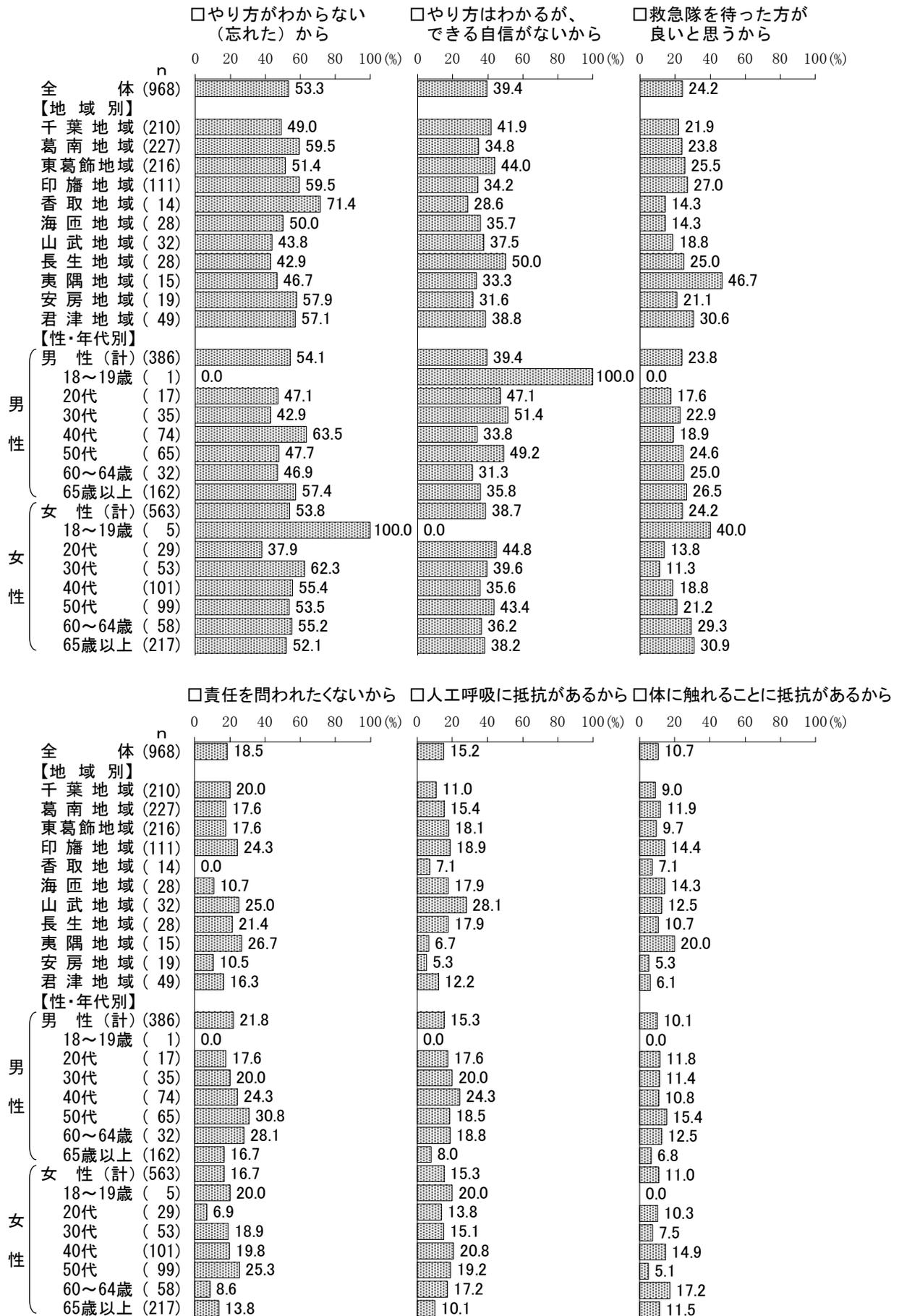
性・年代別にみると、「救急隊を待った方が良くと思うから」は女性の65歳以上（30.9%）が3割で高くなっている。

「責任を問われたくないから」は男性の50代（30.8%）が3割で高くなっている。

「人工呼吸に抵抗があるから」は男性の40代（24.3%）が2割台半ばで高くなっている。

（図表7－6）

<図表7-6>胸骨圧迫や人工呼吸をできないと思う理由(複数回答)／地域別、性・年代別(上位6項目)



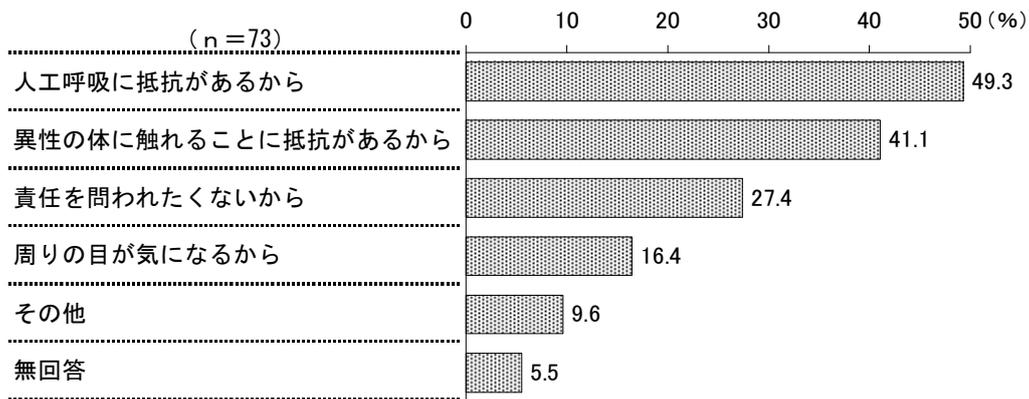
（1－3）異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできないと思う理由

◇「人工呼吸に抵抗があるから」が約5割

（問21－1で「できない」とお答えの方に）

問21－3 異性に対して胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由は何ですか。（〇はいくつでも）

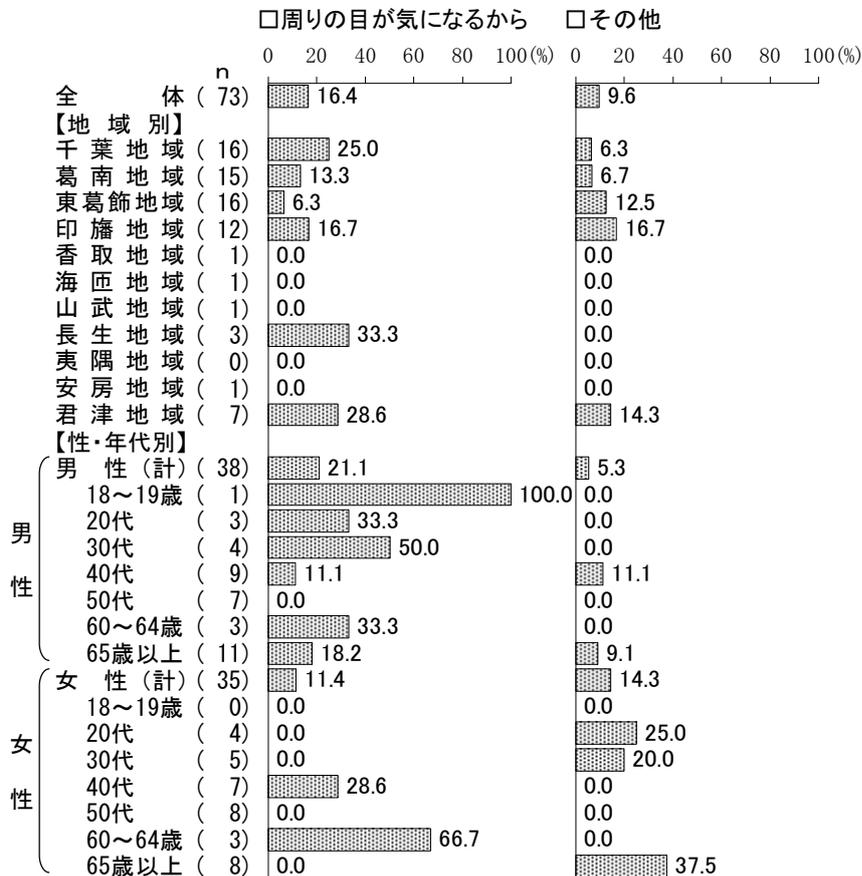
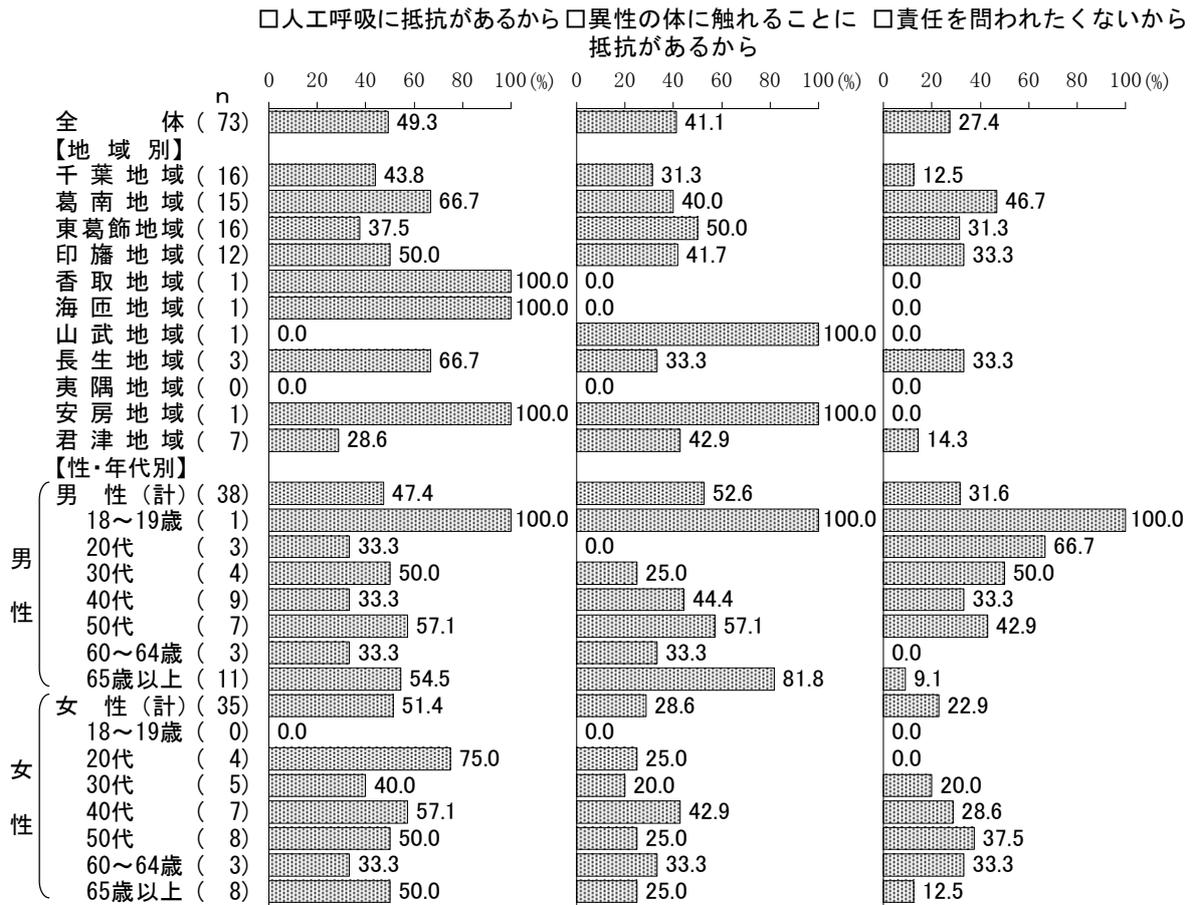
＜図表7－7＞異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできないと思う理由（複数回答）



異性に対して胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸が「できない」と回答した73人を対象に、その理由を聞いたところ、「人工呼吸に抵抗があるから」（49.3%）が約5割で最も高く、以下、「異性の体に触れることに抵抗があるから」（41.1%）、「責任を問われたくないから」（27.4%）、「周りの目が気になるから」（16.4%）が続く。（図表7－7）

※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。
（8ページ「報告書の見方（5）」を参照）
（図表7－8）

<図表7-8>異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできないと思う理由(複数回答)／地域別、性・年代別



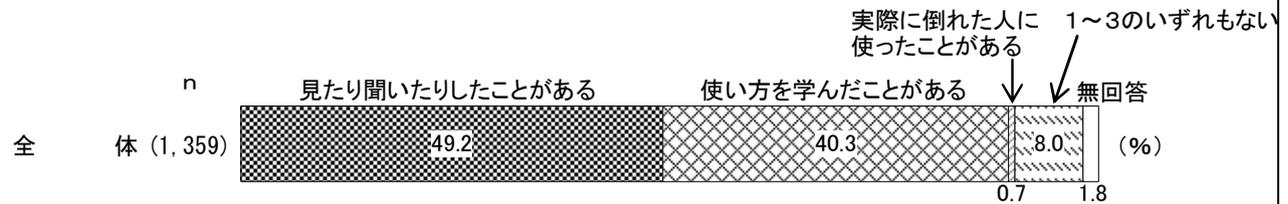
（２）AEDの認知度・利用経験

◇「見たり聞いたりしたことがある」が約5割

問22 AED（自動体外式除細動器）という機器について見聞きしたり、使ったことがありますか。

（○は1つ）

＜図表7-9＞AEDの認知度・利用経験



（※）「1～3のいずれもない」における、1～3とは、「見たり聞いたりしたことがある」、「使い方を学んだことがある」、「実際に倒れた人に使ったことがある」を指す。

AED（自動体外式除細動器）という機器について見聞きしたり、使ったことがあるか聞いたところ、「見たり聞いたりしたことがある」（49.2%）が約5割、「使い方を学んだことがある」（40.3%）が4割となっている。

一方、「1～3のいずれもない」（8.0%）は1割未満となっている。（図表7-9）

【地域別】

地域別にみると、「見たり聞いたりしたことがある」は“印旛地域”（58.2%）が約6割で高くなっている。

一方、「1～3のいずれもない」は“安房地域”（21.7%）が2割を超えて高くなっている。

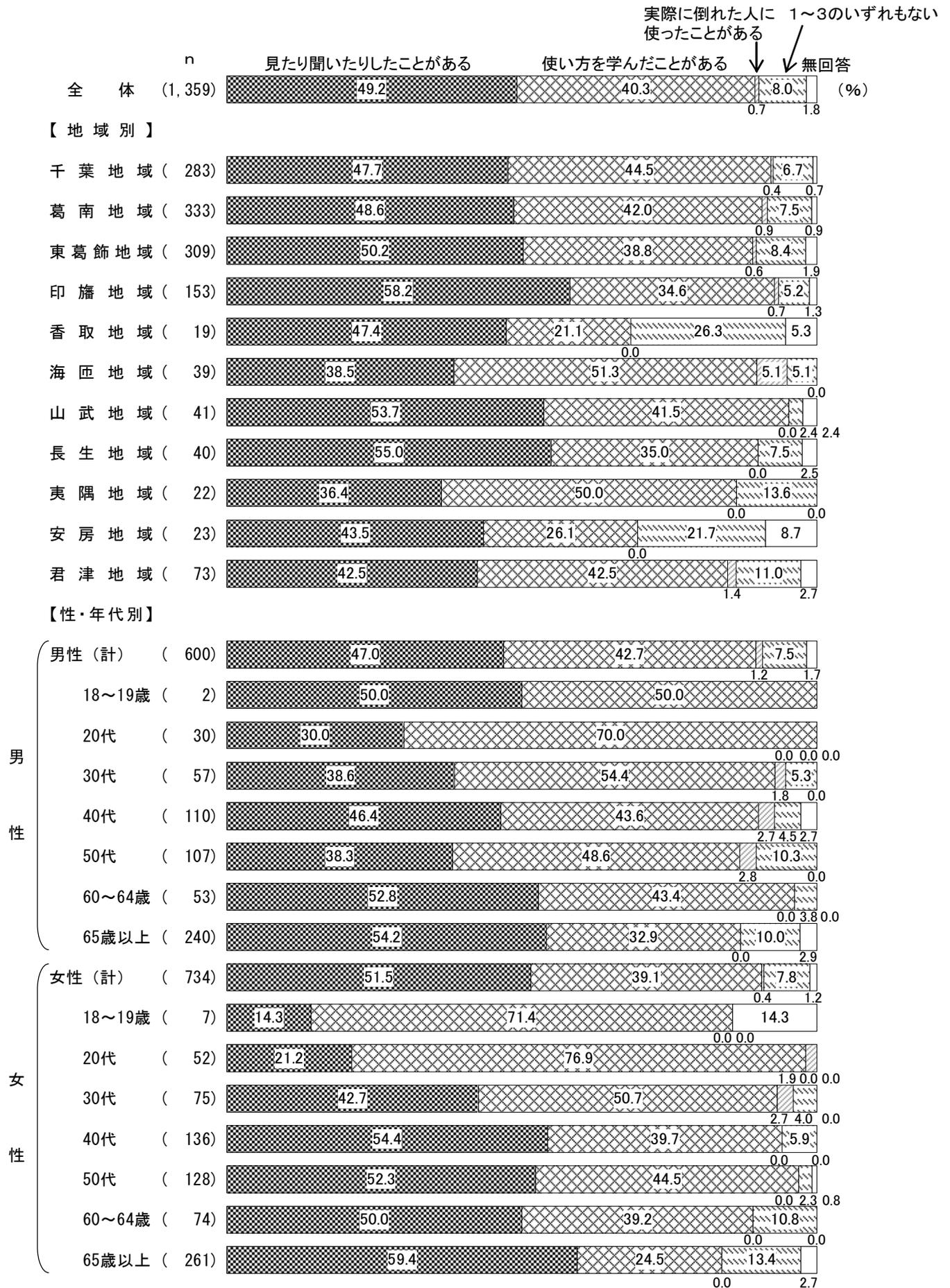
（図表7-10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「見たり聞いたりしたことがある」は女性の65歳以上（59.4%）が約6割で高くなっている。

「使い方を学んだことがある」は女性の20代（76.9%）が7割台半ば、男性の20代（70.0%）が7割、男性の30代（54.4%）が5割台半ばで高くなっている。（図表7-10）

<図表7-10> AEDの認知度・利用経験／地域別、性・年代別

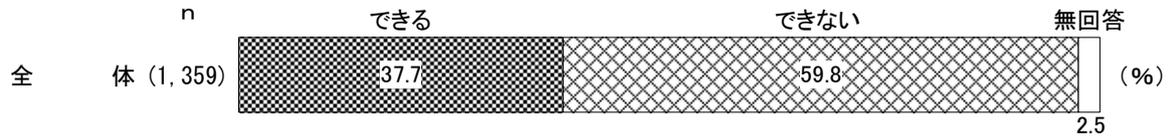


（3）AEDを使用できるか

◇「できる」が約4割

問23 もし、見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場にAEDがあれば、あなたはその人にAEDを使用することができますか。（○は1つ）

<図表7-11> AEDを使用できるか



見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場にAEDがあれば、その人にAEDを使用することができると思うか聞いたところ、「できる」(37.7%)が約4割となっている。

一方、「できない」(59.8%)は約6割で高くなっている。(図表7-11)

【地域別】

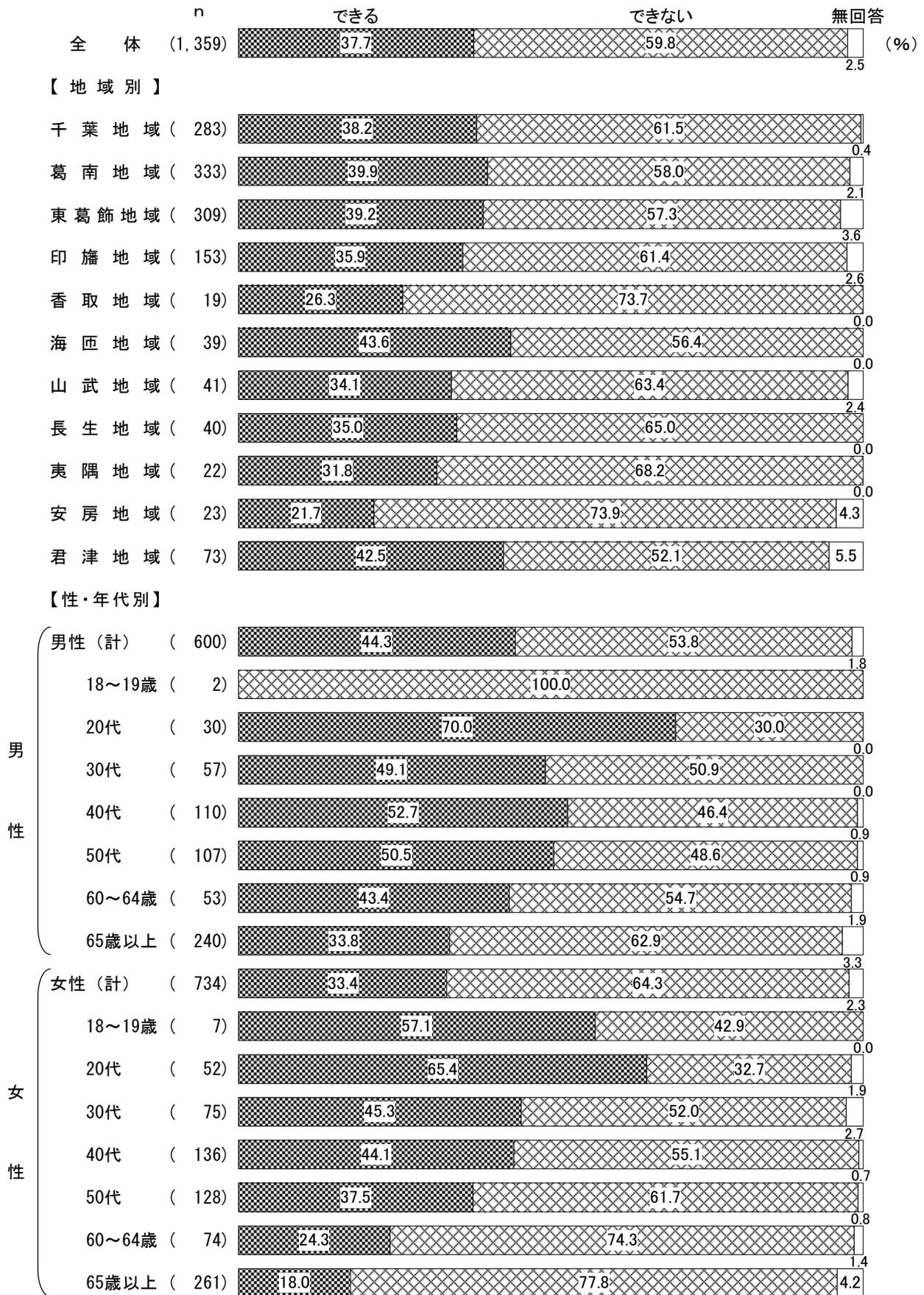
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表7-12)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「できる」は男性の20代(70.0%)が7割、女性の20代(65.4%)が6割台半ば、男性の40代(52.7%)が5割を超え、男性の50代(50.5%)が5割で高くなっている。

一方、「できない」は女性の65歳以上(77.8%)が約8割、女性の60～64歳(74.3%)が7割台半ばで高くなっている。(図表7-12)

<図表7-12> AEDを使用できるか／地域別、性・年代別



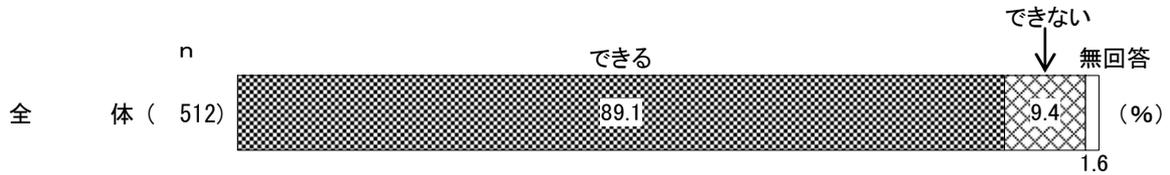
（3－1）異性に対してAEDを使用できるか

◇「できる」が約9割

（問23で「できる」とお答えの方に）

問23－1 あなたは、異性に対してAEDを使用することができますか。（○は1つ）

<図表7－13>異性に対してAEDを使用できるか



見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場にAEDがあれば、その人にAEDを使用することが「できる」と回答した512人を対象に、異性に対してAEDを使用することができるか聞いたところ、「できる」（89.1%）が約9割で高くなっている。

一方、「できない」（9.4%）は1割未満となっている。（図表7－13）

【地域別】

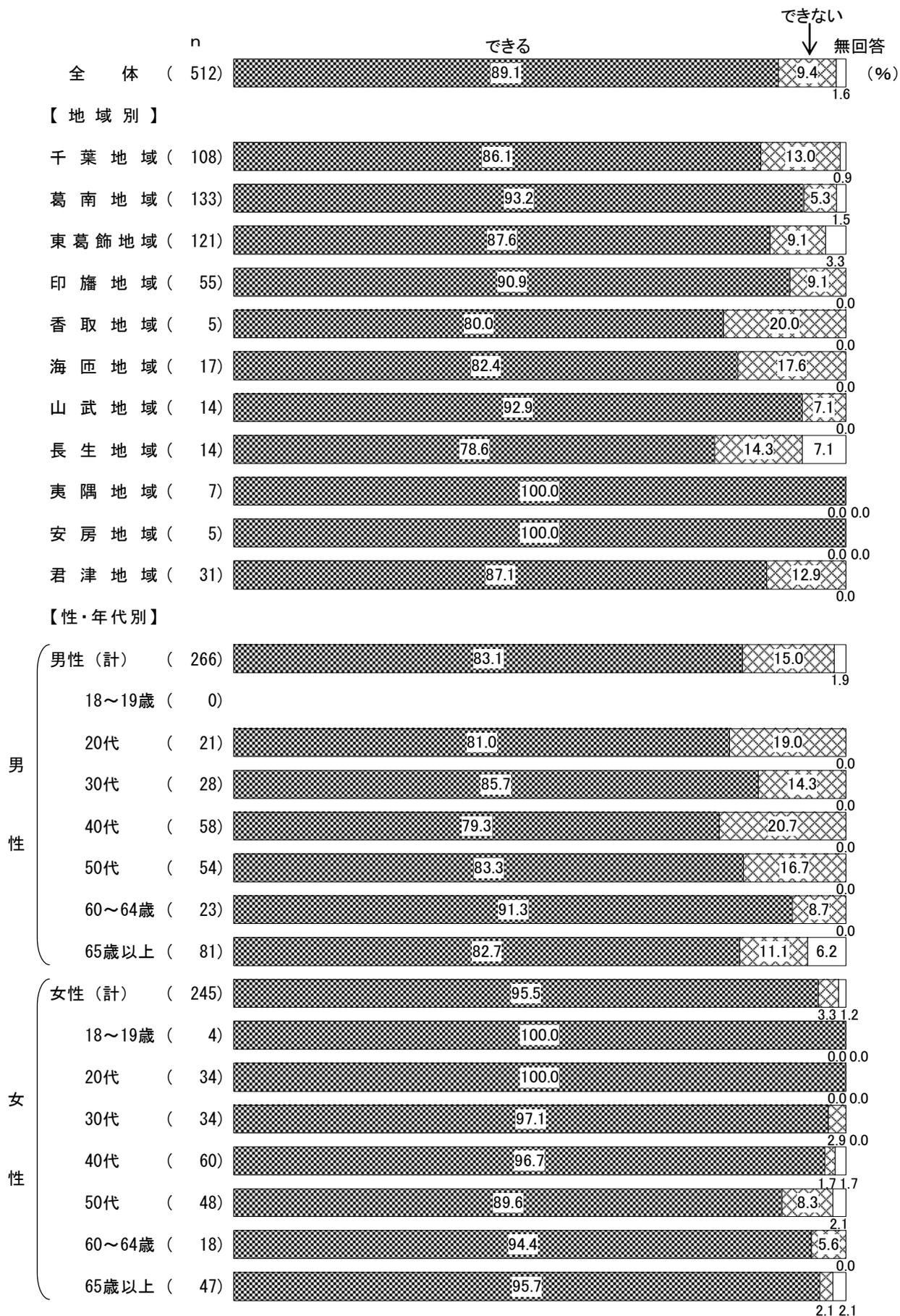
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表7－14）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「できる」は女性の20代（100.0%）が10割で高くなっている。

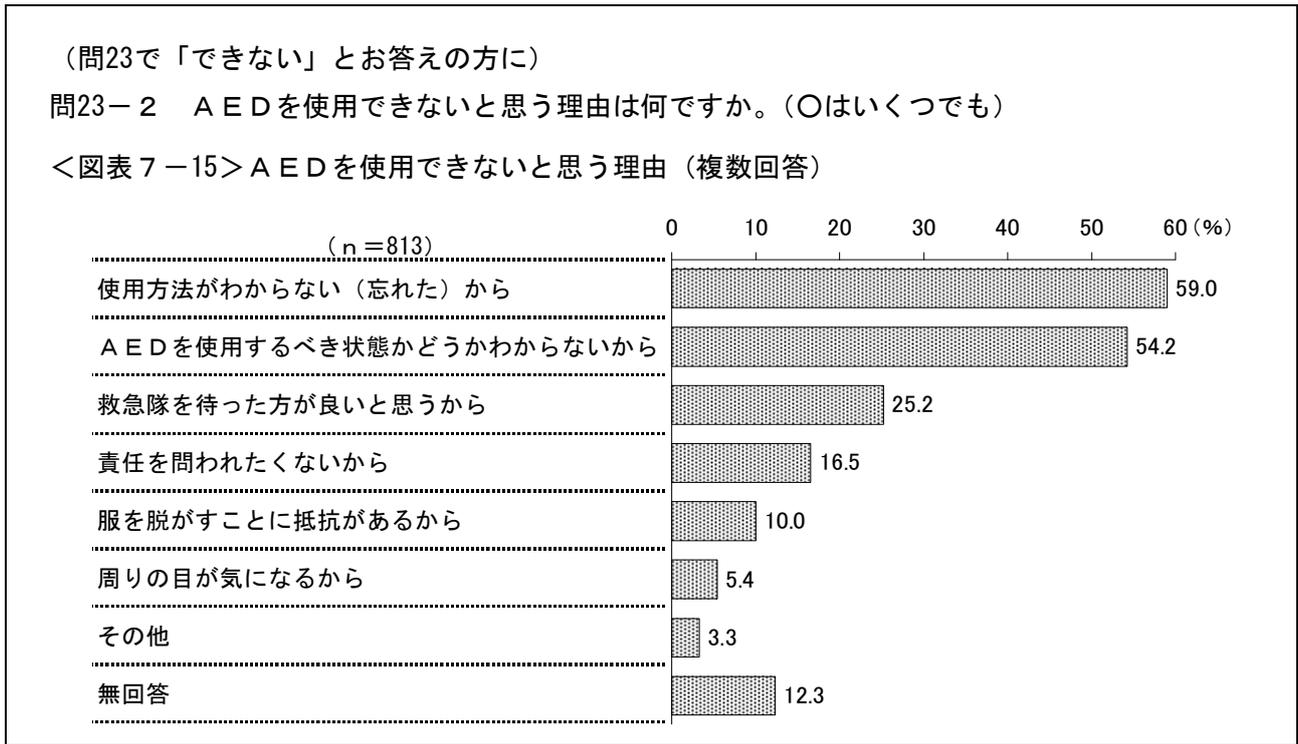
一方、「できない」は男性の40代（20.7%）が2割で高くなっている。（図表7－14）

<図表7-14>異性に対してAEDを使用できるか／地域別、性・年代別



（3-2）AEDを使用できないと思う理由

◇「使用方法がわからない（忘れた）から」が約6割



見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その人にAEDを使用することが「できない」と回答した813人を対象に、その理由を聞いたところ、「使用方法がわからない（忘れた）から」（59.0%）が約6割で最も高く、以下、「AEDを使用すべき状態かどうかわからないから」（54.2%）、「救急隊を待った方が良いと思うから」（25.2%）、「責任を問われたくないから」（16.5%）が続く。

（図表7-15）

【地域別】

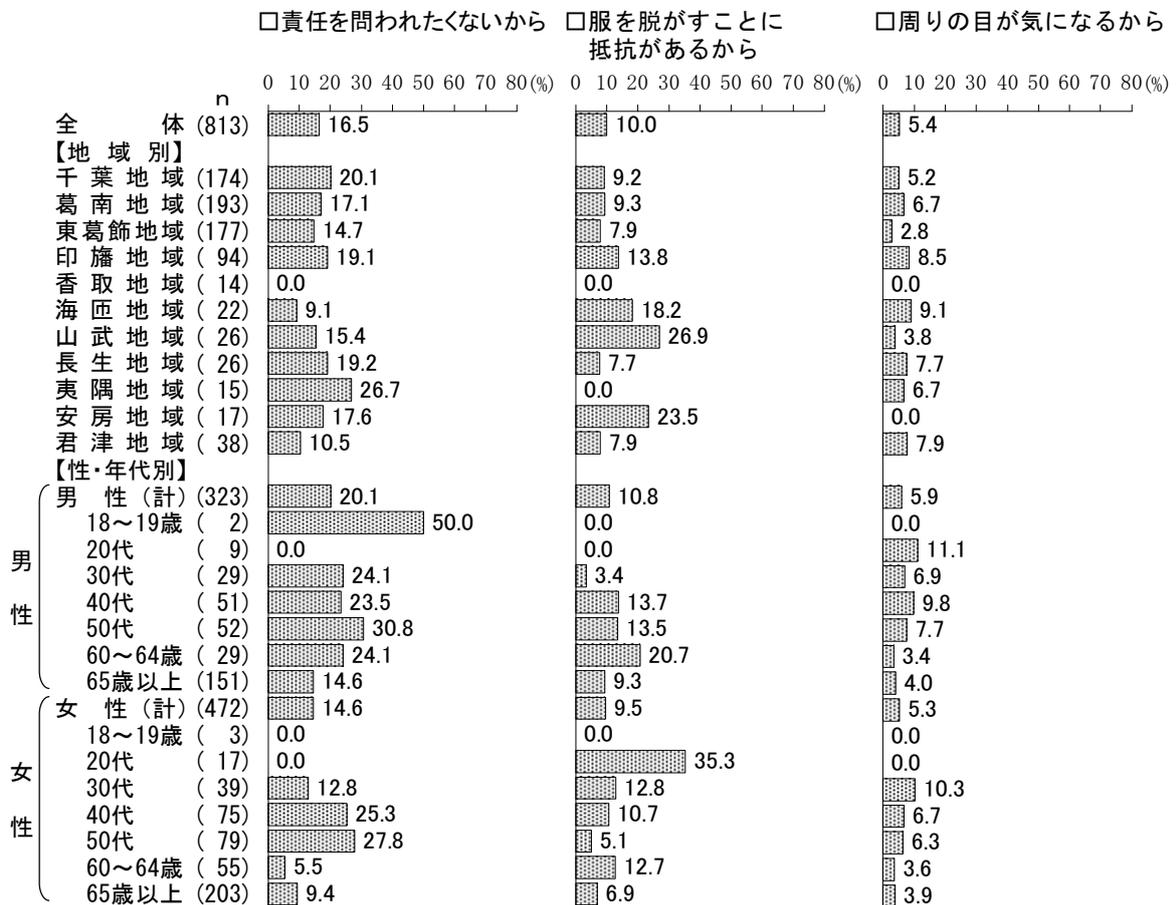
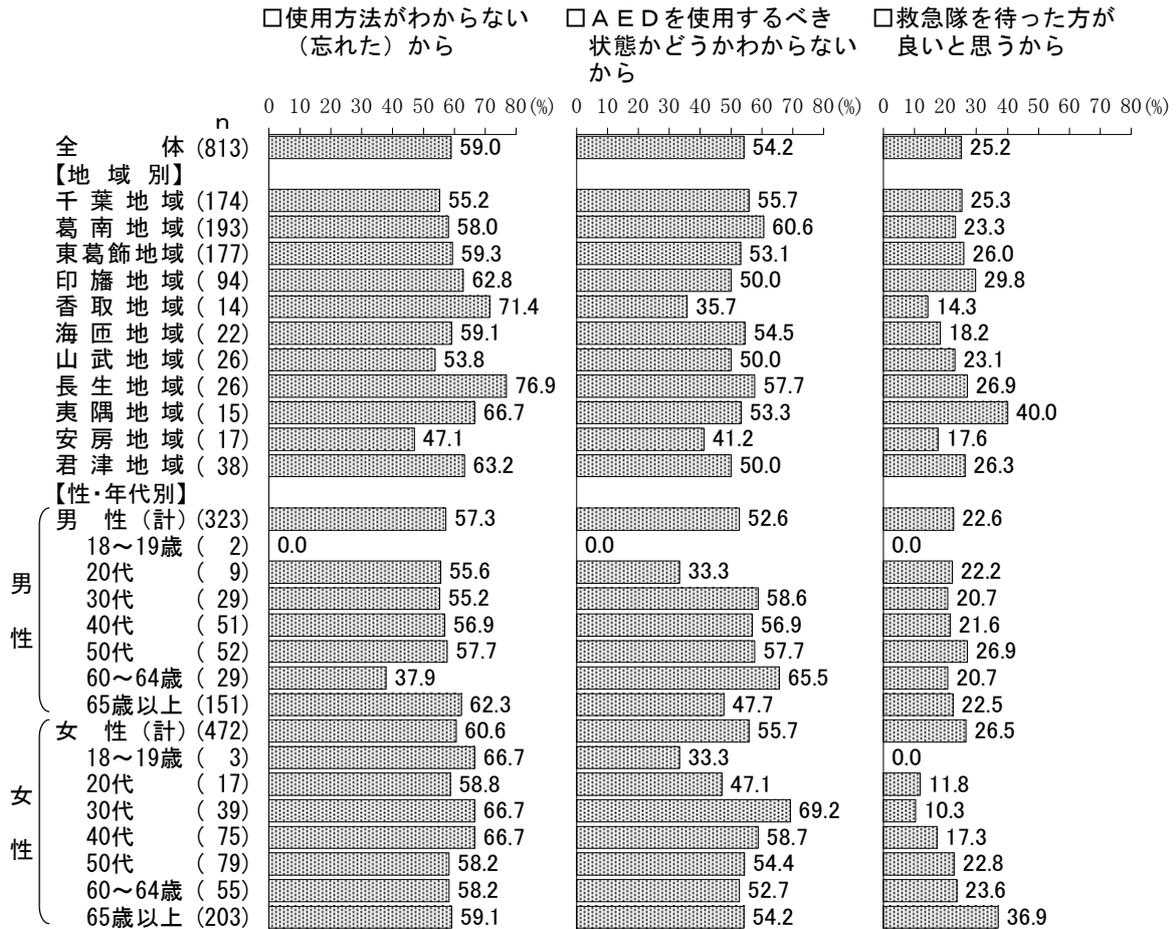
地域別にみると、「服を脱がすことに抵抗があるから」は“山武地域”（26.9%）が2割台半ばで高くなっている。（図表7-16）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「救急隊を待った方が良いと思うから」は女性の65歳以上（36.9%）が3割台半ばで高くなっている。

「責任を問われたくないから」は男性の50代（30.8%）が3割、女性の50代（27.8%）が約3割、女性の40代（25.3%）が2割台半ばで高くなっている。（図表7-16）

<図表7-16> AEDを使用できないと思う理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



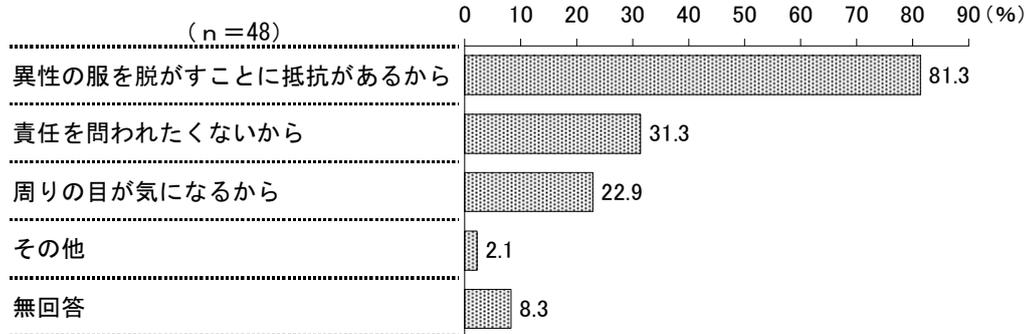
（3－3）異性に対してAEDを使用できないと思う理由

◇「異性の服を脱がすことに抵抗があるから」が8割を超える

（問23－1で「できない」とお答えの方に）

問23－3 異性に対してAEDを使用できないと思う理由は何ですか。（〇はいくつでも）

<図表7－17>異性に対してAEDを使用できないと思う理由（複数回答）



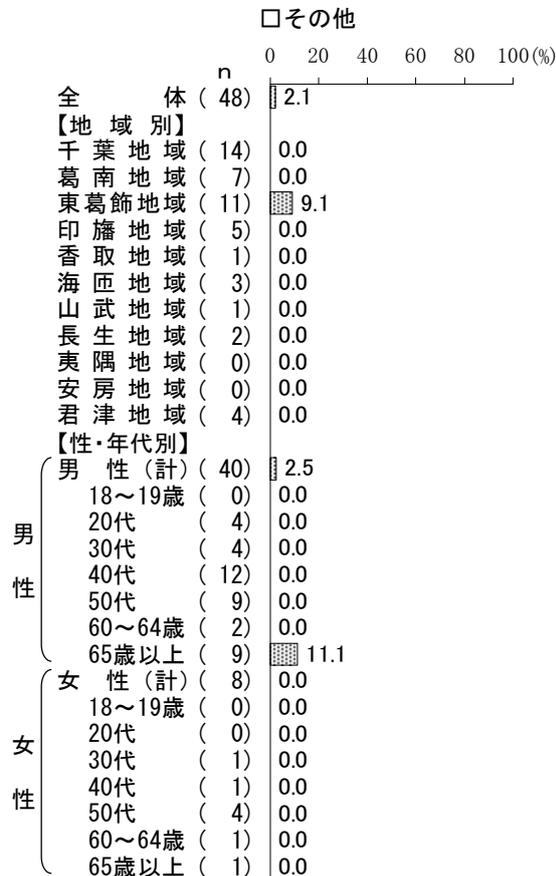
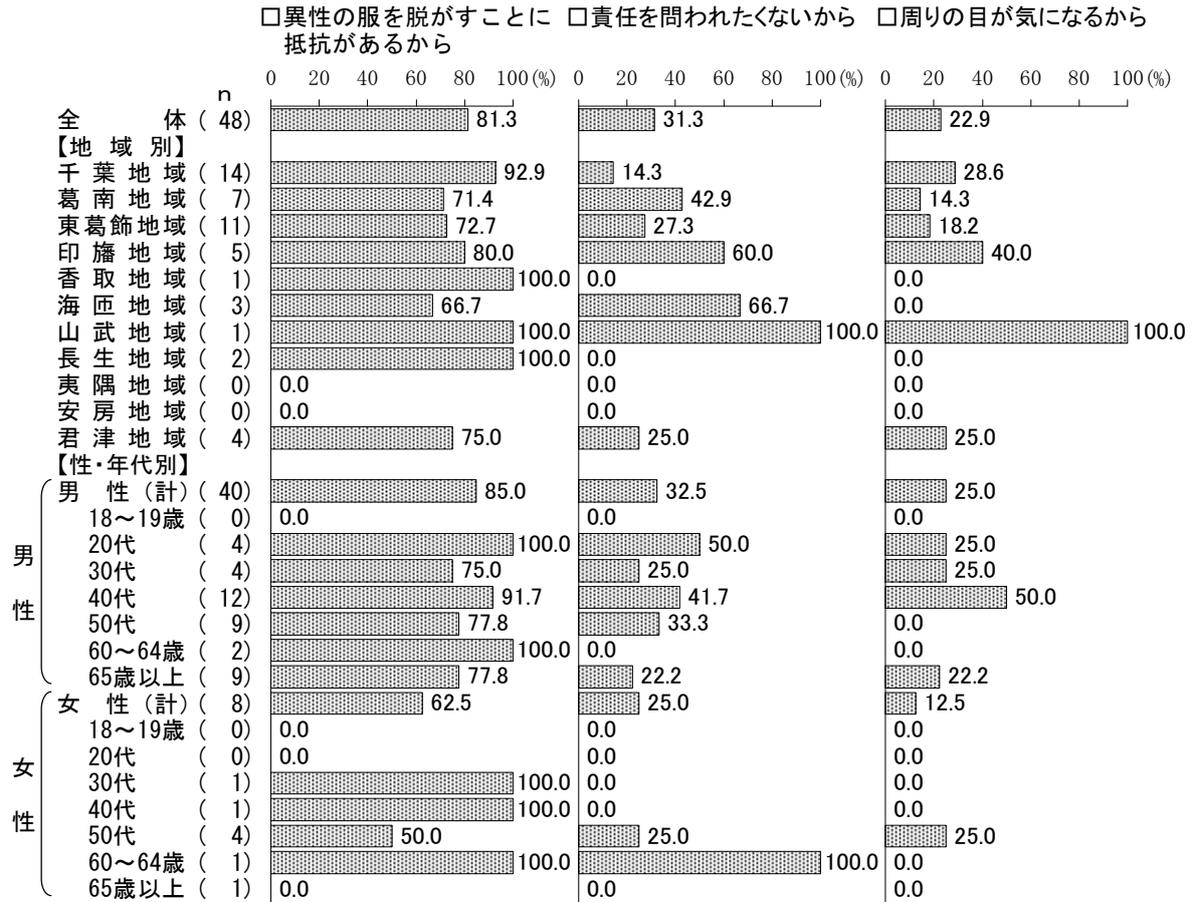
異性に対してAEDを使用することが「できない」と回答した48人を対象に、その理由を聞いたところ、「異性の服を脱がすことに抵抗があるから」（81.3%）が8割を超えて最も高く、以下、「責任を問われたくないから」（31.3%）、「周りの目が気になるから」（22.9%）が続く。（図表7－17）

※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。

（8ページ「報告書の見方（5）」を参照）

（図表7－18）

<図表7-18>異性に対してAEDを使用できないと思う理由（複数回答）／地域別、性・年代別

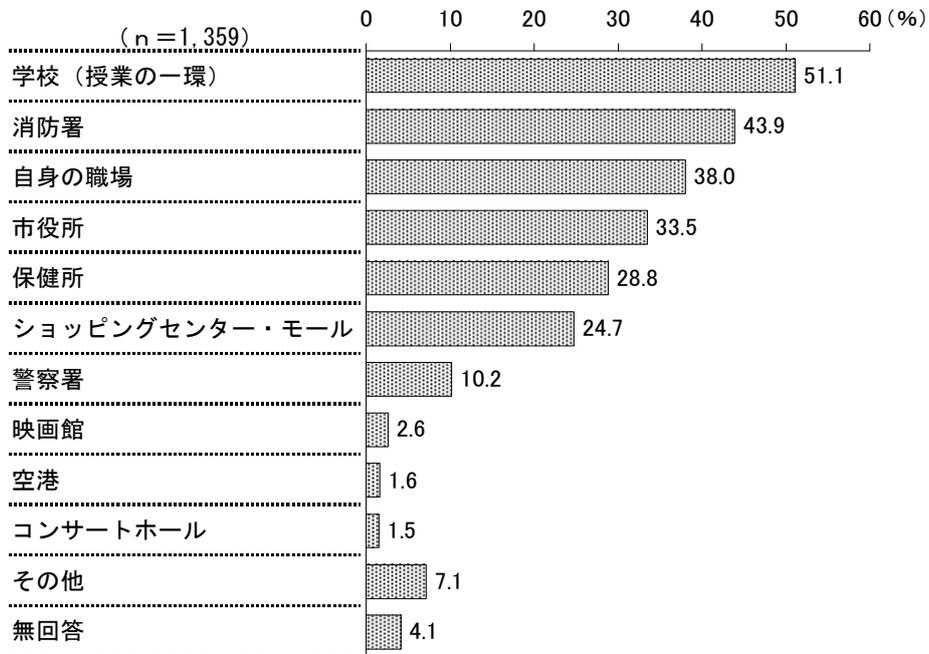


（４）応急手当の講習を希望する場所

◇「学校（授業の一環）」が5割を超える

問24 応急手当の講習をどこで受講できると良いですか。（○はいくつでも）

<図表7-19> 応急手当の講習を希望する場所（複数回答）



応急手当の講習をどこで受講できると良いか聞いたところ、「学校（授業の一環）」（51.1%）が5割を超えて最も高く、以下、「消防署」（43.9%）、「自身の職場」（38.0%）、「市役所」（33.5%）、「保健所」（28.8%）が続く。（図表7-19）

【地域別】

地域別にみると、「学校（授業の一環）」は“葛南地域”（59.2%）が約6割で高くなっている。
（図表7-20）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「学校（授業の一環）」は女性の20代（78.8%）が約8割、女性の40代（71.3%）が7割を超え、女性の30代（62.7%）、女性の50代（62.5%）が6割を超え、男性の40代（60.9%）が6割で高くなっている。

「消防署」は男性の65歳以上（54.6%）が5割台半ばで高くなっている。

「自身の職場」は女性の20代（63.5%）が6割台半ば、男性の60～64歳（60.4%）が6割、男性の30代（59.6%）、男性の50代（58.9%）が約6割、男性の40代（51.8%）と女性の50代（53.1%）が5割を超え、女性の40代（49.3%）が約5割で高くなっている。

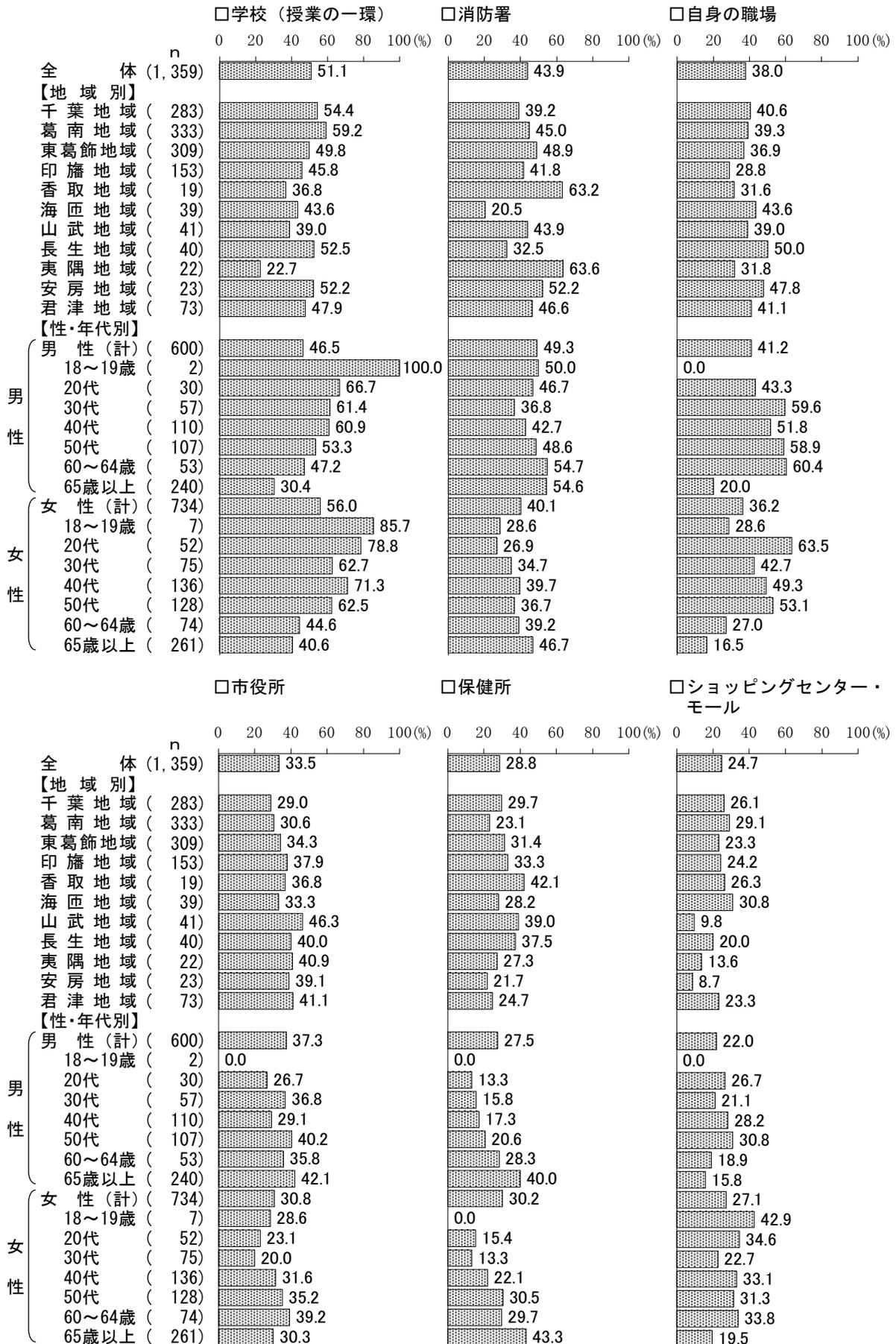
「市役所」は男性の65歳以上（42.1%）が4割を超えて高くなっている。

「保健所」は女性の65歳以上（43.3%）が4割を超え、男性の65歳以上（40.0%）が4割で高くなっている。

「ショッピングセンター・モール」は女性の40代（33.1%）が3割を超えて高くなっている。

（図表7-20）

<図表7-20> 応急手当の講習を希望する場所（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「心肺蘇生法及びAED（自動体外式除細動器）について」やここまでの質問（問21～問24）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、169人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「心肺蘇生法及びAED（自動体外式除細動器）について」の自由回答（抜粋）

- AEDや心肺蘇生法は一度学んだことがあっても、忘れてしまっている人が多いと思うので、講習を受けられる場が増えれば良いと思います。（女性、20代、千葉地域）
- 学校で心肺蘇生法やAEDを学んでも1回では覚えきれなかったり、不安があるから、1年に1回くらいのペースで授業をしてほしい。（女性、18～19歳、印旛地域）
- 運転免許更新時に必須にすれば、使用できる人が増えると思う。（女性、40代、千葉地域）
- AEDはどんな時に使用すべきかの判断は一般人にはなかなかできないと思う。携帯カメラがこれだけ普及しているのだから、救急がカメラをつかって処置を誘導できるとよいのでは。（男性、30代、東葛飾地域）
- 学校の文化祭や体育祭など催し物の一環で、保護者込みで実施すると良いと思う。（男性、40代、葛南地域）
- AED設置場所をアプリ、ネットマップにのせてほしい。（男性、40代、海匝地域）
- 人工呼吸のカバーがあれば異性でもできると思う。感染症にかかりたくない。（女性、20代、葛南地域）
- AED等の使用事例と成果について、効果PRが少なく、身近に感ずる機会がないと思う。AED先進国はどの様にして市民が活用しているのかを、教えて欲しい。（男性、65歳以上、千葉地域）
- AEDによる有効性はよく耳にします。1人でも多くの人命が助かるならば、自分がその場にいたならばと思うと、命を助けたいという気持ちでAEDの説明を見ながら頑張れるかな。もし複数人周りに人がいればいっしょに頑張りたいと思います。（女性、65歳以上、千葉地域）
- 使用方法がもっと広まるようにSNSなどを利用して広めていくとよいと思う。有名人とか使って。（女性、20代、君津地域）
- 今回のアンケートに同封されていたAEDについての用紙が入っていて、勉強になりました。色々なところで知識が得られる機会が増えれば良いと思います。（女性、40代、東葛飾地域）